

## 2024年8月4日（日）第二礼拝「主を待ち望む者」イザヤ40章28～31節

この世は非常に疲れやすい時代です。ストレスが多いからです。悪魔は私たちの過去の失敗や罪に対して昼夜絶え間なく告発し、将来に対しての恐れ、不安、心配を抱かせます。私たちは日々霊的な攻撃を受けています。敵に吹きこまれたものは毒ガスのように心に広がり、若者でも疲れ、たゆみ、つまずき倒れてしまいます。この解決策は何でしょうか？

**第一番目、「あなたは知らないのか。聞いていないのか。」**主は永遠の神であり、過去・現在・未来全てを支配しておられるお方、無から有を造られる全能者です。その方がその測り知れない英知を持って私たちの罪、ストレス、疲れなど全てを十字架で処分し、復活され、今も生きておられます。私たちが疲れる理由は私たちが自分の人生の主となっているからです。もし私たちが自分の自我を十字架につけ、自分の人生を神様に明け渡すなら、キリストが私たちのうちに生きてくださいます。これはまことの悔い改めです。イエス様が私たちを愛し、私たちの罪も重荷も病いも全て十字架で背負ってくださったことにより、もはや罪の責めを負う必要がなくなり、かえって疲れた者には力が与えられ、精力のない者には活気がつけられ、将来と希望が与えられるのです。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人はわたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」(マタイ11:28)

**第二番目、主を待ち望む者は新しく力を与えられます。**主を待ち望む者は日々神様から新しい力を受けることができます。主だけを見つめ、目を離さずにいると、主からの御言葉を受け、聖霊の力(炎)をいただきます。自分が人生の主であるならば疲れます。しかし、神様が私たちの人生の主となる時、私たちは安らぎや神様の力を与えられます。ジョン・バニヤンの『天路歷程』の中で、ペチカの火を悪魔が消そうと水を注ぎますが、火は消えませんでした。聖霊が油を注いでいたからです。このように悪魔はいつも私たちを試み、攻撃します。しかし、これに勝利する秘訣は、私たちが主を待ち望み、聖霊の力を受けて祈る生活です。特に異言(もつれた舌)で祈る時、私たちは安らぎを得ます。また、主だけを仰ぎ見て祈る時に、ペテロが水の上を歩いた時のように奇跡が起こります。周囲や環境状況を見てはいけません。信仰の創始者であり、完成者であるイエス様だけを仰ぎ見ていきましょう。

**第三番目、「鷲のようになる」**チャールズ・スポルジョン師は、罪多い自分自身を正そうとしてもできなかったそうですが、十字架のイエス様を仰ぎ見た時に救いの確信が与えられたそうです。「地の果てのすべての者よ。わたしを仰ぎ見て救われよ。わたしが神である。ほかにはいない。」(イザヤ45:22) 私たちの救いは主から来ます。私たちの罪を赦し、義としてくださるお方は主です。鷲は飛ぶ時、空高く上がっていきます。同様に私たちも高く上っていくために、重荷や心配、まとわりつく罪を捨て、イエス様から目を離さずに、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けることが大切です。キリスト・イエスにある者が罪に定められることはありません。キリスト・イエスにあるいのちの御霊の原理が、罪と死の原理(罪、病い、問題、呪いなど)から私たちを解放してくださりました。アーメン！